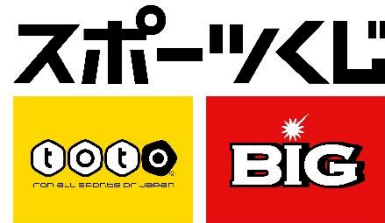


2023年5月26日

理事、監事各位

公益社団法人
ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟
理事 畑中淳子



私たちは日本スポーツ振興センターの競技力向上事業助成とスポーツ振興くじ助成を得て事業を行っています

作成日: 2023年5月26日

2023年度 事業計画書

(自 2023年6月1日 ~ 至 2024年5月31日)

公益社団法人
日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟(JBLSF)は、日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の事業を計画実施する。

1. 競技普及振興活動

(1) そり競技体験会事業

| 事業名称 | 開催地 | 会場 | 開催予定時期 | 目標(人) |
|------------------------------|-------|--------------------|-----------|-------|
| プッシュスケルトン体験会 | 大阪・滋賀 | 滋賀県立国際情報高等学校 | 2023/12 | 5 |
| ローラーリュージュ体験会 ローラースケルトン体験会 | 長野 | 北部スポーツ・レクリエーションパーク | 10月15日 | 50 |
| プラスチックそり大会 | 宮城 | 太陽の村 | 未定 | 20 |
| スケルトン体験教室 | 北海道 | 藤野競技場 | 2024/2月 | 50 |
| リュージュ体験教室 | | 藤野競技場 | 2024/1.2月 | 30 |

(2) 選手発掘事業

① JSC スポーツくじ事業 タレント発掘

2020 年度に策定した、競技別発掘育成計画に基づいて対象選手を継続的に発掘し、ボブスレーとスケルトンは 8 年、リュージュは 15 年の期間でオリンピックメダリストに育成する。

■ボブスレー/スケルトン(合同)

| 事業名称 | 開催地 | 開催時期 | 目標(人) |
|---------|-------|----------|-------|
| 選手発掘テスト | 埼玉 | 2023/7/1 | 20 |
| 選手発掘テスト | 愛媛 | 2023/7 | 100 |
| 育成合宿 | 埼玉 | 2023/8 | 10 |
| 育成合宿 | 長野 | 2023/10 | 10 |
| 海外育成合宿 | 韓国 | 2023/12 | 6 |
| 海外育成合宿 | ヨーロッパ | 2024/2 | 6 |

■リュージュ

| 事業名称 | 開催地 | 開催時期 | 目標(人) |
|--------|--------|---------|-------|
| 育成合宿 | 長野 | 2023/8 | 5 |
| 巡回指導 | 北海道・愛媛 | 2023/8 | 5 |
| 海外育成合宿 | 韓国 | 2023/11 | 5 |
| 海外育成合宿 | 韓国 | 2024/2 | 5 |

■スケルトン

| 事業名称 | 開催地 | 開催時期 | 目標(人) |
|-------|-----|------------|-------|
| 発掘テスト | 長野 | 2023/8/5-6 | 10 |

(3) 国際大会・全国大会事業

長野市ボブスレー・リュージュパーク(通称スパイラル)の冬季製氷休止に伴い、JBLSF が運営する冬季大会は今年度も休止とする。

夏季に開催するボブスレー及びスケルトンの全日本プッシュ選手権大会は、昨年と同様に開催し、実践の場を通じた各選手の競技力強化及びボブスレー、スケルトンの振興普及を図る。

| 事業名称 | 開催地 | 会場 | 開催時期 | 参加(人) |
|------------------------|-----|-------|------|-------|
| 2023 全日本プッシュスケルトン選手権大会 | 長野 | スパイラル | 8/26 | 30 |
| 2023 全日本プッシュボブスレー選手権大会 | | | | 20 |

(4) 審判資格者育成事業

審判員資格の取得は、大会運営に必要不可欠な競技役員の確保のみならず、選手やコーチの活動における基礎知識の取得にもつながることから、競技委員会や加盟団体と連携して研修会・講習会を開催する。また、希望者に対して本連盟公認の審判資格取得試験を行い、取得者には審判員カードを発行し、連盟主催の大会への参加を要請する。

研修会・講習会では国際審判員資格取得者が講師を行う。尚、競技普及の一助となるよう、参加料・受験料はすべて無料とする。

また、必要に応じて、WEB 活用も図り事業を行う。

| 事業名称 | 開催地 | 会場 | 開催時期 | (人) |
|--------|-----|----|------------|-----|
| ルール講習会 | 大阪等 | 未定 | 2022/11 月頃 | 10 |

(5) 長野スパイラル利用拡大推進事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い活動休止。

(6) 広報・資金調達活動事業

事務局にマーケティング部門を設置し、専任でマーケティング事業を推進し、体制強化を図る。企業ロゴや企業名を露出する従来からの宣伝効果目的に加え、JBLSF が企業に提供できるものを幅広く揃える。

スポンサーとの連携を密にし、双方向の協力関係を築く。

HP のコンテンツや Twitter での発信内容を工夫し、また新規に Instagram も始めることで、若年層のファンを取り込む。HP は訪問者のリピーターを増やしていく。

| 事業名称 | 内容 | 目標 |
|------------------|--|--------|
| マーケティング部門設立 | マーケティング経験者を採用し専門部署を設置 | 職員2名採用 |
| 新規スポンサー発掘 | 幅広い業種から年間500万円を目標に発掘する | 5社発掘 |
| JOC ジョイントマーケティング | TEAM JAPAN ブランドを高める新たな取組み開始 | 国際大会活用 |
| WEB 活用宣伝 | HP と Twitter に加え、Instagram でもそり競技の魅力を伝える | 閲覧者数増 |

2. 競技者強化と指導者養成活動

(1) 強化事業

-1. ボブスレー

2026年及び2030年オリンピックで世界と戦える身体能力を有した選手を対象とした強化事業を実施する。競技力向上の他、インテグリティ・コンプライアンス教育にも注力をしていく。

| 事業名称 | 開催地 | 目的 | 開催時期 | 選手(人) |
|-------|-----|---|--------|-------|
| 国内合宿1 | 埼玉 | ・コンバインドテストの実施 ・フィジカル中心の合宿(スプリント力強化) ・インテグリティ・コンプライアンス教育 | 2023/7 | 5 |
| 国内合宿2 | 埼玉 | ・フィジカル中心の合宿(スプリント力強化) ・インテグリティ・コンプライアンス教育 | 2023/8 | 5 |
| 国内合宿3 | 長野 | ・選手選考合宿 | 2023/9 | 6 |

-2. リュージュ

| 事業名称 | 開催地 | 目的 | 開催時期 | 選手(人) |
|-------|-----|--|--------|-------|
| 国内合宿1 | 長野 | ・コンバインドテストの実施 ・フィジカルトレーニング(筋力肥大・強化) | 2022/6 | 1 |
| 国内合宿2 | 長野 | ・コンバインドテストの実施 ・スタート動作の復習と解析 | 2022/9 | 1 |

-3. スケルトン

事業で選定した選手を対象に、世界トップの身体能力や技術の獲得を目標とし、スプリント能力を生かした氷上滑走技術力の向上を目指して強化事業を実施する。

| 事業名称 | 開催地 | 目的 | 開催時期 | 選手(人) |
|--------|------|---------------------------------|--------------|-------|
| 国内強化合宿 | HPSC | ・プッシュトレーニングの実施 ・コンバインドテストの実施 | 2023/8/26~29 | 2 |

(2) 海外遠征・国際レース参戦事業

-1. ボブスレー

| 事業名称 | 開催地 | 目的 | 開催時期 | 選手(人) |
|---------|-------|-------------------------------|--------------------|-------|
| 海外コーチ招聘 | 欧州 | ・スイス連盟との連携 | 2023/10- 2024/3 | |
| 海外強化合宿 | 欧州 | ・氷上滑走トレーニング | 2023/10-11 | 2 |
| 海外強化合宿 | 欧州 | ・氷上滑走トレーニング | 2023/11-12 | 2 |
| 海外遠征 | 欧州・韓国 | ・氷上滑走トレーニング ・国際大会参加による実践強化 | 2024/2-3 | 4 |

-2. リュージュ

| 事業名称 | 開催地 | 目的 | 開催時期 | 選手(人) |
|-------|----------|---|---------------------|-------|
| コーチ派遣 | レイクプラシッド | ・USLA との年間計画会議 ・USLA との遠征計画会議 ・マテリアル変更打合せ ・スタート技術指導等の指導内容打合せ | 2023/8 | 1 |
| 海外遠征 | 北米・欧州・韓国 | ・氷上滑走トレーニング ・滑走フォームとスタートタイム向上 ・国際大会参加の実践強化 | 2023/10 -2023/12 | |
| 海外遠征 | 北米・欧州・韓国 | ・氷上滑走トレーニング ・滑走フォームとスタートタイム向上 ・国際大会参加の実践強化 | 2024/1 -2024/3 | |

-3. スケルトン

JOC 強化指定選手と JBLSF 指定選手を対象に、2026 ミラノ・コルティナ五輪並びに 2024 江原道ユース五輪に向けた技術力を強化する為、JOC 競技力向上事業で実施する。なお、JOC 強化指定選手が不在の為、年度の開始時点でのレース派遣計画は未定とする。

| 事業名称 | 開催地 | 目的 | 開催時期 | 選手(人) |
|------------------|--------------------|-----------------|---------------|-------|
| 巡回指導(委託事業) | 選手居住地 | 2030 五輪で MPA 輩出 | 2023/6-7 | 6 |
| 国内合宿(委託事業) | 東京 NTC | | 2023/7 | 6 |
| 国内合宿(委託事業) | 長野 | | 2023/8 | 6 |
| 国内合宿(委託事業) | 北海道 | | 2023/9 | 6 |
| 国際大会派遣選手選考会 | 欧州 | 国際大会選手決定 | 2023/10/15-25 | 4 |
| 海外遠征 (ユース予選会) | ノルウェー・ リレハンメル | ユース五輪予選会 参加 | 2023/10/20-29 | 1 |
| | 韓国・平昌 | | 2023/11/2-12 | 1 |
| | オーストリア・ インスブルック | | 2023/12/4-8 | 1 |
| 海外合宿 1 | 欧州 | 滑走技術向上 | 2023/12/10-29 | 1 |
| 2024 江原道ユース五輪 | 韓国・平昌 | ユース五輪出場 | 2024/1/19-2/4 | 1 |
| 海外遠征 | 北米 | 用具調整と 滑走技術向上 | 2024/2/6-3/2 | 2 |
| 海外合宿(委託事業) | 欧州 | 2030 五輪で MPA 輩出 | 2024/2-3 | 6 |
| 巡回指導(委託事業) | 選手居住地 | | 2024/3 | 6 |

-4.3 競技合同

コースと滑走に関する科学的データを集積し、最適なコースを分析し、NF 指定選手に対して適切なアドバイスとコーチングを行う知見を得ることを目的としている。他国 NF とも連携し、高いパフォーマンスを発揮している海外の選手のデータについても収集する。

| 事業名称 | 開催地 | 目的 | 開催時期 | 対象者 |
|------------------------------------|-----|---------------------------------------|--------------------|---------|
| 強化活動のDX化促進支援 (海外コース 3D データ製作実験) | 国内 | 海外コース 3D データ製作実験を実施し、コースの最適なルート进行调查する | 2023/10 -2024/3 | NF 指定選手 |
| 強化活動のDX化促進支援 (映像分析ソフト契約) | 国内 | 映像分析ソフトによる滑走フォーム、コース取りの最適化を実施する。 | 2023/3 -2024/3 | |

(3) 指導者養成事業

資格を有した指導者の育成と継続的なコーチング技術の研鑽が、そり競技の発展の源となると考え、以下の事業を実施する。

- ・日本スポーツ協会主管の「そり競技」専門科目講習会の事前準備と実施
- ・受講者・講師への講習会通知と日本スポーツ協会・JBLSF 事務局への申請と報告

| 事業名称 | 開催地 | 会場 | 開催予定時期 | 目標(人) |
|---------------------|-------|----------------|--------------|-------|
| 公認コーチ 3 養成講習会(基礎理論) | オンライン | | 2023/8/5-6 | 1 |
| 公認コーチ 3 養成講習会(実技) | 長野市 | NTC スパイラル | 2023/9/9-10 | 2 |
| 公認コーチ 3 養成講習会(指導実習) | 札幌市 | 藤野競技場・藤野地区センター | 2024/2/10-11 | 3 |

※ 実技・指導実習は対面で実施予定

(4) 長野スパイラルそり競技調査研究事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、スパイラル機材を活用した同事業は休止する。

(5) 医科学サポート推進事業

JOC が掲げる「人間力なくして競技力向上なし」の体現を目指し、3 競技の強化後方支援として、競技力向上に繋がる選手教育や医・科学サポート活動、その研究支援などを行う。

また、人間力の向上を目指し、インテグリティ教育の推進を担う。なお、コーチの資質能力向上や指導力向上に繋がる医・科学情報の提供も念頭に入れ、活動に従事する。これらの活動に関しては、3 競技の強化方針ならびに計画に基づいた連携のもと、計画的に行なわれるものであり、医・科学部単独で行うものではない。

上記に基づき、以下の年間活動と事業を実施する。

① 年間活動

| 活動名称 | 目的 | 対象者 |
|-----------------------------|---|--------------------|
| 行動規範、行動指針を基にした インテグリティ教育 | 行動規範と行動指針を基に、JOCアプリケーションなどを活用しながら継続的に教育を行うことで、社会に相応しい人間力を身に着けることを目的とする | 加盟選手 スタッフ |
| サプリメントポリシーの運用 | 派遣対象選手に対して、アンチ・ドーピングを目的に、策定したサプリメントポリシーを運用し、利用管理を行う | 派遣対象 選手 |
| 要望、状況に応じた 医・科学サポート | 競技力向上につながるトレーニングやコンディショニングを目的に、要望と状況に応じて医師やトレーナー、管理栄養士、科学スタッフによる医・科学サポートを行う | 派遣対象 選手 |
| 全日本ブッシュ選手権大会 現地医療対応 | 大会参加者の安全、健康管理を目的に医師を現地に派遣する | 大会参加 選手 |
| アンチ・ドーピング教育 | 派遣対象選手のドーピングに対する知識の獲得、ならびにアンチ・ドーピングを目的に教育啓発活動を行う | 派遣対象 選手 スタッフ |

② 事業

| 事業名称 | 開催地 | 事業目標 | 開催時期 | 人数(人) |
|----------------------------|-------------------|--|----------------|-------|
| 3 競技合同会議 | 東京都 (ハイブリッド開催) | ・強化・育成戦略、中長期計画の共通認識の促進 ・選手、連盟のコミュニケーションの促進 ・行動規範、行動指針を基にしたインテグリティ教育の促進 ・競技力向上につながる医・科学情報の理解 | 2023/9/3- 4 | 30 |
| アンチ・ドーピング 基礎研修 | 東京都 (ハイブリッド開催) | アンチ・ドーピングに関する基礎知識の習得 | 2023/9/4 | 30 |
| アスリート オンラインセミナー | オンライ ン | 本連盟の強化対象になる選手に対してコンプライアンスとインテグリティ教育を行い、日本を代表して活動するに相応しいアスリートを養成する | 2023/9 | 15 |
| 次世代ターゲットア スリート事業報告 会 | 東京都 (ハイブリッド開催) | 事業を通して獲得した、持続的な選手強化・育成に寄与できる知見の共有と活用 | 2023/6/25 | 20 |

以上